



# 学校便り

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashidai/>

8月・9月号

横浜市立東台小学校

電話（５７１）０８１２

令和２年 ８ 月 17 日

## 苦渋の選択

校長 松本 久美子

夏休みが終わりました。

今年は２週間という短い期間で、子どもたちにとっては残念なものでした。例年よりも梅雨が長く、太陽を見られる日が少なかったのですが、梅雨明けと同時に休みに入ったのは、残念な気持ちが少し和らぎました。

新型コロナウイルスの学校への影響はまだ続いています。

このたび、５年生の宿泊行事だけでなく、４年生、６年生の宿泊行事についても取りやめることにしました。ふだんの学校生活でも不自由な思いをさせているのに、大きな行事を取りやめてしまうことは子どもたちがかわいそうで、何度も会議を行って話し合いをしてきました。コロナの感染拡大も終息に向かうのではないか、感染症対策を行いながら安全に実施することはできないかといろいろな可能性とそれについての対応を検討してきました。

しかしながら、横浜の学校現場でも感染者が出たことも考慮し、170人を超える児童を２日間ずっと濃厚接触を避けて過ごさせることは大変難しいと判断しました。今年度、運動会を大幅に縮小したことと同じく、全ての学年の宿泊行事を取りやめたことは苦渋の選択でした。行事を楽しみにしている子どもたちのことを考えると断腸の思いです。

本来ならば保護者の方々には直接ご説明しなければならないところ、紙面をもってのお知らせとなってしまい申し訳ありません。

宿泊行事の代わりに、各学年で日帰りの遠足的行事を計画しています。子どもたちにとって有意義な、そして思い出に残る活動を工夫するよう、先生たちにもお願いしました。

学校生活が安心して送れるよう、引き続き感染対策にも気を配っていきたいと思います。